

新選組始末記 (1963)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 93分
初公開日 1963/01/03

【解説】

子母沢寛のデビュー作であり新選組研究の古典でもある同名小説をもとに「零戦黒雲一家」の星川清司が脚本を書き「斬る」の三隅研次がメガホンをとった。おなじみの題材である新選組を、その中心人物ではなく山崎蒸という隊士の視点で描いている。土方歳三をクールに演じた天知茂が印象に残る。

剣こそ男の生きる道と信じる山崎蒸は、恋人である志満の反対を振り切って、壬生の新選組に入った。だが局長の芹沢鴨は粗暴で、蒸が尊敬する近藤勇の苦言は一向に聞き入れられなかった。土方歳三は芹沢の腹心を切腹に追い込み、さらに泥酔した芹沢をも斬殺。蒸は土方のやり方に反発、黙認する近藤も詰った。ある夜、誤って公儀役人を斬ってしまった蒸は、近藤に命じられ勤王浪士たちの動向を見張る探偵方になり、池田屋に集まる浪士たちを発見する。

【クレジット】

監督 三隅研次
企画 辻久一
原作 子母沢寛
脚本 星川清司
撮影 本多省三
美術 太田誠一
編集 菅沼完二
音楽 斎藤一郎
助監督 友枝稔議
出演 市川雷蔵 山崎蒸
藤村志保 志満
松本錦四郎 沖田総司
小林勝彦 谷三十郎
成田純一郎 楠小十郎
天知茂 土方歳三
城健三郎 近藤勇
田崎潤